

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社ジョイフル

コード番号 9942 URL <http://www.joyfull.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 穴見 くるみ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 小野 哲矢

TEL 097-551-7131

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	44,947	1.6	2,358	△5.1	2,413	△3.3	1,391	△4.4
25年12月期第3四半期	44,228	△1.6	2,486	△25.0	2,495	△24.3	1,455	△20.9

(注)包括利益 26年12月期第3四半期 1,392百万円 (△4.7%) 25年12月期第3四半期 1,461百万円 (△20.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	47.30	—
25年12月期第3四半期	49.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	26,065	14,820	56.9
25年12月期	24,984	14,016	56.1

(参考)自己資本 26年12月期第3四半期 14,820百万円 25年12月期 14,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年12月期	—	10.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年 1月 1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,020	3.4	2,170	△17.8	2,200	△17.3	1,000	△27.2	34.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	31,931,900 株	25年12月期	31,931,900 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

26年12月期3Q	2,523,732 株	25年12月期	2,523,582 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	29,408,247 株	25年12月期3Q	29,408,464 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の政府や日銀による各種経済政策を背景に、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けつつも、全体として緩やかな回復を継続する状況で推移いたしました。

当外食業界においては、消費税率引き上げによる外食支出への影響は軽微でありましたが、夏場以降の天候要因に加え、食の安全に対する不信感の高まりや、円安に伴う原材料価格及び光熱費の上昇などから、一転して厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは「私たちの街のレストラン」として、子供から年配のお客様に至るまで「気楽な団欒の場」としてご利用いただけるよう、当社のビジネスモデルの根幹である「お値打ち感を主とした商品の提供」と「お客様視点に立ったサービスの実践」に取り組み続けてまいりました。

商品施策では、「商品開発プロセスの強化」による商品力及び提供品質の向上を軸に、お客様の消費動向を捉えながら多様化する消費者ニーズに対応した商品施策を推進してまいりました。特に、各店舗でお客様に提供する段階での品質を高めるため、お値打ち感を維持・向上させながら、かつ作業工程の効率化に配慮した商品の開発に取り組んでまいりました。

営業施策では、「お客様に繰り返しご利用いただける店作り」の観点から、主に次の2つに取り組んでまいりました。まず、店舗を中心とした社内マネジメント手法を改善するために、複数店舗を管轄するスーパーバイザーの業務を再整理するとともに、人材育成の面から店長と副店長の権限の見直しにも取り組んでまいりました。あわせて、お客様に商品を提供する段階での品質を高めるために、キッチン作業について、OJTだけでなく集中研修制度を新たに創設するなど、従業員教育の改善にも取り組んでまいりました。

また、投資額を抑えた直営新型ジョイフル12店舗を出店いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は449億4千7百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は23億5千8百万円（前年同四半期比5.1%減）、経常利益は24億1千3百万円（前年同四半期比3.3%減）、四半期純利益は13億9千1百万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、直営12店舗及びF C 1店舗の出店、直営1店舗の退店により、731店舗（直営676店舗、FC55店舗）となりました。

また、当社は保険代理店業務を行う特例子会社を所有しておりますが、連結業績に占める割合が極めて軽微なため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

i) 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の総資産は260億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億8千1百万円の増加となりました。

これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

ii) 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債は112億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千6百万円の増加となりました。

これは主に未払消費税等、未払法人税等、賞与引当金の増加、買掛金、長期借入金の減少によるものであります。

iii) 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産は148億2千万円となり、前連結会計期間末に比べ8億4百万円の増加となりました。

これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、平成26年2月9日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,104	4,441
売掛金	152	152
商品及び製品	408	306
原材料及び貯蔵品	891	671
その他	657	812
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	5,212	6,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,475	6,253
機械装置及び運搬具（純額）	269	268
工具、器具及び備品（純額）	284	287
土地	7,905	7,905
その他（純額）	133	165
有形固定資産合計	15,068	14,881
無形固定資産	59	55
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,231	3,280
その他	1,416	1,468
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,644	4,746
固定資産合計	19,772	19,682
資産合計	24,984	26,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,968	1,753
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	1,981	1,976
未払費用	2,174	2,043
未払法人税等	316	639
賞与引当金	111	451
その他	698	1,351
流動負債合計	7,351	8,315
固定負債		
長期借入金	1,466	650
退職給付引当金	593	644
役員退職慰労引当金	80	93
資産除去債務	1,328	1,356
その他	147	185
固定負債合計	3,616	2,929
負債合計	10,968	11,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	2,390	2,390
利益剰余金	9,391	10,193
自己株式	△3,771	△3,771
株主資本合計	14,009	14,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	7
その他の包括利益累計額合計	6	7
純資産合計	14,016	14,820
負債純資産合計	24,984	26,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	44,228	44,947
売上原価	15,300	15,720
売上総利益	28,927	29,227
販売費及び一般管理費	26,441	26,868
営業利益	2,486	2,358
営業外収益		
受取利息	5	5
不動産賃貸収入	46	57
受取補償金	-	17
その他	27	40
営業外収益合計	79	121
営業外費用		
支払利息	27	19
不動産賃貸原価	34	34
その他	8	12
営業外費用合計	70	66
経常利益	2,495	2,413
税金等調整前四半期純利益	2,495	2,413
法人税、住民税及び事業税	1,057	1,100
法人税等調整額	△17	△78
法人税等合計	1,040	1,022
少数株主損益調整前四半期純利益	1,455	1,391
四半期純利益	1,455	1,391

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,455	1,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	1
その他の包括利益合計	6	1
四半期包括利益	1,461	1,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,461	1,392
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。